

おすすめ図書

夏休みにたくさん本を読もう！

どうする家康

古沢良太 作 NHK 出版

現在放送されている大河ドラマ「どうする家康」を小説化した本です。

ドラマを見ている人は、場面を思い出しながら楽しく読むことができます。また、ドラマを見ていない人も、小説としてしっかりと作られているので楽しめるものとなっています。

夜空に浮かぶ欠けた月たち

窪美澄 作 角川書店

直木賞作家が書く傷ついた心に寄り添う医療小説。純喫茶とメンタルクリニックを舞台とした連作短編小説となっています。

喫茶店にやってきた心に問題を抱えている人たちが、喫茶店に関わりのある精神科のクリニックで癒される感動のストーリーです。

イチからつくるコーラ

コーラ小林 編集 農山漁村文化協会

そもそもコーラって何だろう？そんな疑問に答え、幅広い人に人気のあるクラフトコーラについて書かれた本です。

クラフトコーラに使われるスパイスから作り方まで絵とともに分かりやすく書かれているので、クラフトコーラのことを知りたい、作ってみたいという人におすすめの本です。

ざんねんないきもの事典

今泉忠明 監修 高橋書店

子どもに大人気な「ざんねんないきもの事典」シリーズ。

このシリーズは、動物の生態などにおける残念な部分をピックアップしてイラストと共に説明するちょっと変わった事典となっています。意外な動物に残念なところがあることがわかり、面白くて笑いながら学べる本です。

かいけつゾロリシリーズ

原ゆたか 作 ポプラ社

長く続いているシリーズで今なお人気がある「かいけつゾロリ」シリーズ。

主人公のゾロリがお供のイシシとノシシを連れて旅をするお話です。ハチャメチャで奇想天外な行動が読んでいて面白く、子どもだけでなく、大人も読んで楽しい内容です。

サクもぐごくん

ナガノ 作 講談社

アニメになっている大人気漫画「ちいかわ」。その「ちいかわ」が絵本になったのがこの本です。

この本は基本的にちいかわたちが食べ物食べているだけなのですが、ちいさくてかわいいキャラクターが何か食べているのを見るだけでも楽しくて癒されます。

暑い夏、交流館の図書室で読書や学習などいかがですか？涼しくして待っています！